

適用規格					
定 格	使用温度範囲	-25℃ ～ +85℃	保存温度範囲	-10℃ ～ +60℃	
	電 圧	AC 30 V , DC 42 V	_____	_____	
	電 流	2 A	適合ケーブル	φ5	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電氣的性能	接触抵抗	単位コネクタをDC 1 A で測定する。	15 mΩ以下	○	○
		_____ をDC _____ A で測定する。	_____ mΩ以下	—	—
	絶縁抵抗	DC 100 Vで測定する。	1000 MΩ以上	○	○
	耐電圧	端子間、端子-シェル間にAC 300 Vの電圧を1分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○
機械的性能	コネクタの挿抜力	_____ の鋼製ピンで測定する。	挿抜力 _____ N 以上	—	—
	コネクタの挿抜力	適合コネクタで測定する。	挿抜力 25 N以下(ロック機構を除く)	○	—
	繰り返し動作	1000 回の抜き差しを行う。	単位コネクタの接触抵抗: 30 mΩ以下	○	—
			_____ の接触抵抗: _____ mΩ以下	—	—
	耐振性	周波数10～55～10 Hz/サイクル, 振幅 0.75mm, 5分/サイクルで3軸方向各10サイクル試験する。	①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと	○	—
	耐衝撃性	加速度 490m/s ² , 持続時間 11 ms、正弦半波 3軸両方向各 3回試験する。	①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと	○	—
	コネクタ破壊強度	適合コネクタをカン合した状態で、ケーブルを上下左右方向に力を加える。	100 N以下でコネクタの破損が無いこと。	○	—
	環境性能	定常状態の耐湿性	温度 40℃, 湿度90～95%中に96時間放置する。	①絶縁抵抗: 10 MΩ以上(高湿時) ③絶縁抵抗: 100 MΩ以上(乾燥時) ③破損, ひび, 部品のゆるみがないこと	○
温度サイクル		温度 -55℃ → 常温 → +85℃ → 常温 時間 30 → 2～3 → 30 → 2～3分 を5サイクル試験する。	①絶縁抵抗: 100 MΩ以上 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと	○	—
塩水噴霧		濃度5%の塩水、48時間放置する。	機能を損なうようなはなはだしい腐食がないこと。	○	—
耐熱性		温度 +85℃中に 96時間放置する。	破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
耐寒性		温度 -55℃中に 96時間放置する。	破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
はんだ耐熱性		はんだこてをこて先温度+350±10℃で5±1秒間ソルダ・ホット部へ当てる。	外観に変形及びコネクタなどに著しいガタがないこと。	○	—
はんだ付け性		はんだこてをこて先温度+350±10℃で2～3秒間のはんだ付けを行う。	はんだ付け表面は、ピンホール、ぬれなしはんだはじき部分などの欠点のないこと。	○	—
耐水圧性		適合コネクタをかん合した状態で水深 1.8mに 48時間放置する。	コネクタ内部への浸水がないこと。	○	—
耐気圧性	適合コネクタをかん合した状態で、コネクタ内部に17-17.6kPaを30秒間加える。	コネクタ内部より気泡の発生がないこと。	○	—	
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
△					
備考			承認	HY. KOBAYASHI	18.03.13
			検 図	HY. KOBAYASHI	18.03.13
			担 当	TY. SUZUKI	18.03.13
			製 図	TY. SUZUKI	18.03.13
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。(IEC 60512)					
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目			図番	SLC-113850-31-00	
HRS	製 品 規 格 表		製品名	LF07WBP-6P (31)	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL136-0002-4-31	△ 1/1